

全労金2021春季生活闘争ニュース・第16号

【全労金2021春季生活闘争統一スローガン】
今こそ全国の仲間と思いをひとつに！心は密に団結を！

全労金2021春季生活闘争は最終交渉期間に入りました！ 明日の回答期限日に向け、 要求に拘りをもって最後の最後まで闘い抜こう！

全労金2021春季生活闘争は、大詰めを迎えました。各単組闘争委員会は、明日（16日）の統一回答期限日に向けて、本日も精力的に交渉を展開しています。

連合は、今週を「第1先行組合回答ゾーン」に設定していることに加え、明日16日～18日を「2021春季生活闘争のヤマ場」に設定し、大手産別傘下労働組合からの回答状況を踏まえ、情勢分析が示されるものと認識しています。これに先立ち、先週には自動車大手の本田技研労働組合で年間一時金要求に対し「満額回答」が示された他、電機連合では産別の統一ベア要求 2,000円に対し、500～1,000円の回答が示される見通しとの報道がされています。

全労金は、先週末までの第三次交渉期間の交渉状況報告、並びに、直近の単組闘争委員会における議論状況の報告を受け、情勢分析を行っています。単組ごとの情勢としては、先週12日（金）には、近畿労組が金庫から「満額回答」が示され基本合意を交わした他、金庫・事業体から前向きな回答を引き出し、16日の団体交渉に向けて詳細を詰めている段階にある単組について報告を受けています。一方で、この大詰めを迎えてなお、「経営の先行きの不透明さ」「目標に実績が達していない」等を理由に、単組の要求に向き合おうとしない金庫・事業体がある報告も受けています。

ここ数年継続している日銀の金利政策による影響や、新型コロナウイルス感染症による先行きが見えない影響等により、労金業態の経営環境が厳しさを増していることは、私たちが十分認識しています。その様な環境にあっても、今の状況を乗り越え、労働金庫職員として勤労者の生活に寄り添い、労働者自主福祉事業団体としての役割発揮に次年度以降も邁進するためには、私たちの総意で確立した要求の実現が必要不可欠です。

統一回答期限日まで残すところわずかですが、掲げた要求に拘りを持ち、最後の最後までともに闘い抜きましょう。

《第三次交渉期間（3月8日～12日）の交渉報告より》

- ◎ 正職員の基本賃金（定昇の確認は除く）
要求を掲げた5単組のうち、2単組で「有額回答」の考えが示されている。
- ◎ 嘱託等職員の基本賃金（定昇の確認は除く）
要求を掲げた5単組のうち、1単組で「有額回答」の考えが示されている。

- ◎ 関連会社の基本賃金（定昇の確認は除く）
要求を掲げた3単組のうち、2単組で「有額回答」の考えが示されている。
- ◎ 正職員の年間一時金
全単組で要求を掲げ、11単組で昨年実績以上を確保する考えが示されている。
また、昨年実績を上回る要求を掲げた3単組のうち、1単組で昨年実績を上回る回答を示す考えが示されている。
- ◎ 嘱託等職員の年間一時金
全単組で要求を掲げ、13単組で昨年実績以上を確保する考えが示されている。
また、昨年実績を上回る要求を掲げた11単組のうち、4単組で昨年実績を上回る回答を示す考えが示されている。
- ◎ 関連会社の年間一時金
要求を掲げた6単組のうち、全単組で昨年実績以上を確保する考えが示されている。
- ◎ 統一退職金制度の改善
要求を掲げた3単組のうち、1単組で「有額回答」の考えが示されている。
- ◎ 最低賃金
要求を掲げた1単組で、「有額回答」の考えが示されている。
- ◎ 育児に伴う所定労働時間短縮措置の拡充
要求を掲げた4単組のうち、1単組で「要求通り」、1単組で改善に向けた考えが示されている。
- ◎ ジョブリターン制度・年休積立制度の制度構築・改善
要求を掲げた1単組で、「要求通り」とする考えが示されている。
- ◎ 職場環境の改善
要求を掲げた3単組、1単組で「要求通り」1単組で改善する考えが示されている。
- ◎ 次世代法・女性活躍推進法への対応
要求を掲げた1単組、及び、申し入れた1単組で、前向きに対応する考えが示されている。
- ◎ 新型コロナウイルス感染症等の感染症対策に関する労働条件・職場環境の整備
要求を掲げた2単組のうち、1単組で一部改善する考えが示されている。
また、申し入れた1単組でも、前向きに対応する考え方が示されている。

※ 次号からは合意報告を中心に配信する予定です。

※全労金HP (<http://www.zenrokin.or.jp/>) もご覧ください！

以 上

**【全労金2021春季生活闘争統一スローガン】
今こそ全国の仲間と思いをひとつに！心は密に団結を！**